

# 点検整備記録簿

(分解整備記録簿写) か月点検整備

事業用等  
 点検:レ 交換:× 締付:T  
 分解:○ 修理:△ 清掃:C  
 調整:A 給油:L  
 3  12  +

使用者の氏名又は名称

車名及び形式

自動車登録番号又は車両番号

住所

原動機の形式

初年登録年又は  
初年度検査年

車台番号

点検の結果及び整備の概要			
かじ取り装置	センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間	ディストリビュータのキャップの状態	マフラの機能
ハンドルの操作具合	センタ・ブレーキ・ライニングの摩耗	バッテリーのターミナル部の接続状態	エア・コンプレッサ
ギヤ・ボックスの油漏れ	センタ・ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷	電気配線の接続部の緩み、損傷	エア・タンクの凝水
ギヤ・ボックスの取付けの緩み	二重安全ブレーキ機構の機能	原動機	エア・コンプレッサ、プレッシャ・レギュレータ、アンローダ、バルブの機能
ロッドとアーム類の緩み、がた、損傷(※2)	走行装置	エア・クリーナ・エレメントの状態(※2)	高圧ガスを燃料とする燃料装置等
ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷	タイヤの状態(※2) 空気圧、亀裂、損傷、溝の深さ、異状摩耗	シリンダ・ヘッド、マニホールドの各部の締付状態	導管、継手部のガス漏れ、損傷
ナックルの凍結部のがた(※2)	ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み	低速及び加速の状態	ガス容器取付け部の緩み、損傷
かじ取り車輪のホイール・アラメント	フロント・ホイール・ベアリングのがた(※2)	排気の状態	車枠及び車体
パワー・ステアリング装置のベルトの緩み、損傷	ホイール・ナット及びホイール・ボルトの損傷(※3)	潤滑装置の油漏れ	車枠、車体の緩み、損傷
パワー・ステアリング装置の油漏れ、油量(※2)	リム・サイド・リング及びディスク・ホイールの損傷	燃料装置の燃料漏れ	連結装置
パワー・ステアリング装置の取付けの緩み	リヤ・ホイール・ベアリングのがた	冷却装置のファン・ベルトの緩み、損傷	カブラの機能、損傷
制動装置	緩衝装置	冷却装置の水漏れ	ピントル・フックの摩耗、亀裂及び損傷
ブレーキ・ペダルの遊び、踏み込んだときの床板とのすき間	リーフ・サスペンションの取り付け部の緩み、損傷	排気管の悪臭の発生防止装置	開扉発生防止装置
ブレーキの効き具合	リーフ・サスペンションのスプリング取付部、凍結部の緩み、損傷	ブローバイ・ガス還元装置	防止装置の機能
駐車ブレーキ機構 引きしろ	コイル・サスペンションの取り付け部の緩み、損傷	メーターリング・バルブの状態	その他
駐車ブレーキの効き具合	コイル・サスペンションの取り付け部の緩み、損傷	配管の損傷	シャシ各部の給油脂状態
ホースとパイプの漏れ、損傷、取付状態	エア・サスペンションの取り付け部の緩み、損傷(※2)	燃料蒸発ガス捕集装置	その他の点検項目
リザーバ・タンクの液量	エア・サスペンションの取り付け部の緩み、損傷(※2)	配管等の損傷	
マスタ・シリンダ・ホイール・シリンダ・ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷	エア・サスペンションの取り付け部の緩み、損傷(※2)	チャコール・キャニスターの詰まり、損傷	
ブレーキ・チャンパのロッドのストローク	エア・サスペンションの取り付け部の緩み、損傷(※2)	チェック・バルブの機能	
ブレーキ・チャンパの機能	ショック・アブソーバの油漏れ、損傷	一酸化炭素等発散防止装置	
ブレーキ・バルブ、クイック・リリース・バルブ、リレーバルブの機能	動力伝達装置	触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷	
倍力装置のエア・クリーナーの詰まり	クラッチ・ペダルの遊び、切れたときの床板とのすき間	二次空気供給装置の機能	
倍力装置の機能	クラッチの作用	排気ガス再循環装置の機能	
ブレーキ・カムの摩耗	クラッチの液量	減速時排気ガス減少装置の機能	
ドラムとライニングとのすき間	トランスミッション、トランスファの油漏れ、油量(※2)	配管の損傷、取付状態	
シューの摺面部分、ライニングの摩耗(※2)	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの凍結部の緩み(※2)	警告器等	
ドラムの摩耗、損傷	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの自在継手部のダスト・ブーツの亀裂、損傷	警告器の作用	
バック・プレートの状態	プロペラ・シャフト・ドライブ・シャフトの継手部のがた	ワイパーの作用	
ディスクとパッドとのすき間(※2)	プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトのセンタ・ベアリングのがた	洗浄液噴射装置の作用	
パッドの摩耗(※2)	デファレンシャルの油漏れ、油量(※2)	デフロスタの作用	
ディスクの摩耗、損傷	電気装置	施設装置の作用	
センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み	点火プラグの状態(※2)(※4)	エグゾースト・パイプ及びマフラ	
	点火時期	取付けの緩み、損傷(※2)	

見本

注 (※2)印の箇所は、自動車検査証の交付を受けた日又は前回の点検を行った日以降の走行距離が3月当たり2,000キロメートル以下の自動車については、前回の当該点検を行うべきこととされる時期に当該点検を行わなかった場合を除き行わなくてもよい。  
 (※3)印の点検は、車両総重量8トン以上又は乗車定員30人以上の自動車に限る。  
 (※4)印の点検は、点火プラグが白金プラグ又はイリジウム・プラグの場合は行わないことができる。

※整備管理者が保存して下さい。

記事(主な交換部品、測定結果等)

(測定結果)

●CO,HC濃度(アイドリング時)

CO %

HC ppm

自動車分解整備事業者の氏名又は名称(点検整備者)及び事業場の所在地並びに認証番号

整備主任者の氏名

点検の年月日 年 月 日

整備完了年月日 年 月 日

点検(整備)時の総走行距離 km

会社保存用